※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　書道科

科目	硬筆習字Ｂ	単位数	2
使用教科書	ペン習字ハンドブック（日本習字普及協会）		
副教材等	な　し		
レポート	６通		
必要出席回数	８回		
テスト	×　　（スクーリングで取り組む実技課題に代える）		
課題・実習等	レポートやスクーリングで実技課題あり		

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基本から学習していきます。教科書の字をもとに学習を進めますので、ポイントをおさえて書いていきましょう。
・スクーリング中の練習だけではなく自宅でも練習を重ねて、レポートは清書として取り組んでください。
・丁寧に、根気強く学習していくことが大切です。
・スクーリングには、教科書と鉛筆(４Ｂ～６Ｂ)を必ず持参してください。
準備のない場合、スクーリングを受けられないことがあります。
・あわせて硬筆習字Ａを受講してください。

２　学習の到達目標

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、手書き文字の基礎的な技能を身に着け表す。
(2) 手書き文字のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫し、書の伝統と文化の意味や価値を考え効果的に表現する。
(3) 手書き文字の美しさ・大切さを味わい、主体的に書の表現及び鑑賞に幅広く取り組む。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 手書き文字の基礎的な技能を身に付け、表している。	手書き文字のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫している。書の伝統と文化の意味や価値を考え、効果的に表現している。	手書き文字の美しさ・大切さを味わい、主体的に書の表現及び鑑賞に幅広く取り組もうとしている。

● 学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	漢字の学習	1.行書の学習	a：文字の大きさも含め、表現方法の基礎・基本を身に付け、課題の意図に基づいた効果的な表現ができている。 b：文字の構築的な構造や変化と統一感などを理解し、書写能力の向上に努めている。 c：内容を理解して自分のものとしている。計画的にレポートに取り組んでいる。	実技課題の理解度と文字の大きさ・配置・線質等の完成度。	スクーリング中の課題を理解して、丁寧に仕上げているか。	課題についての振り返りができているか。レポートとスクーリングの取り組み状況。
	仮名の学習	2.平仮名と連綿	a：平仮名や連綿についての表現方法の基礎・基本を身に付け、課題の意図に基づいた効果的な表現ができている。 b：仮名の線質や書風と用筆・運筆との関わりを理解し、書写能力の向上に努めている。 c：内容を理解して自分のものとしている。計画的かつ積極的に、レポートに取り組んでいる。			
	実用書の学習	3.漢字仮名交じり文の学習 4.実用書の学習 ・ハガキの書き方 ・年賀状の書き方 5.漢字仮名交じり文の学習	a：目的や用途に即した形式と書き方を判断し、文字の大きさ、配列、書体など、それぞれに適した表現ができている。 b：文字の構築的な構造や変化と統一感などを理解し、書写能力の向上に努めている。 c：内容を理解して自分のものとしている。計画的かつ積極的にレポートに取り組んでいる。			
		6.手本を見ずに美しい文字を書く	a：これまでの学習を生かした文字の配置や大きさで全体の構成を考え、線質も意識して表現している。 b：これまでの学習を生かして書写能力の向上に努めている。 c：創作作品を振り返り、書の美を味わい自分のものとしている。計画的かつ積極的にレポートに取り組んでいる。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度